



聖地・天神山に祈りのあかりを灯します

◎ 献燈の申し込みは本紙裏表紙の申込用紙をご利用ください



献燈祭

八月二十五日(日曜日)午後六時



浄火の準備も整い
献燈祭が始まります

八月最後の縁日の日に「献燈祭」を執り行います。
午後六時、まだ明るさの残る境内で浄火を雪洞に灯し始めます。
岩津・天満宮は、熱田神宮と砥鹿神社奥宮を結ぶ線上のほぼ中心に鎮座する聖なる地でした。
この聖地・天神山で灯りをともし、ご先祖さまへの感謝、今の日本の礎となられたご英霊、そして災害の犠牲になられた方々に慰霊の真を捧げます。
とつぷりと暮れた境内は、揺らぐ炎が醸し出す幻想的な天満宮。時の過ぎることも忘れず。そして、御祭神に手を

合わせ、忙しくとも、毎日を元気に過ごせる幸せを感謝申し上げます。
天神さんの宵宮まつりです。夕涼みをかねて日本情緒を楽しむ「ゆかた」でどうぞお越しください。

献燈申し込み

◎ 竹の雪洞一灯二千円

◎ ロウソク一灯一千円

それぞれにお名前・願い事が入ります
申し込みは、社務所で受付ます
献燈料を添え
専用の用紙にてお申し込みください
お一人何灯でも承ります



夏越しの祓いする人は千歳の命のぶというなり



輪くぐり神事にご参列の方には職員手作りの茅守りを進呈します



夏越しの祓い・輪くぐり神事

六月三十日(日曜日)
午前十一時・午後二時

参列の方に差し上げております。
さて、同じ日の夕方からは半年に一度の大祓式を執り行います。和紙の人形(ひとがた)に息を三度吹きかけ、無病息災を天神様にお祈りします。こちらも自由にご参列いただけます。



本年は六月の最後の日曜日、夏越しの祓い・輪くぐり神事を執り行います。茅の輪をくぐり、正月からの半年間の罪や穢れを祓い、残りの半年も健康で過ごせる様祈ります。
神代の昔。旅の途中にあったスサノオノミコトを、真心をこめてもてなした蘇民将来の故事にちなんだ病除けの神事です。病を得やすい夏を前にして、茅の輪をくぐることで健康を祈願することになりました。
岩津の天神様は、昔から病除けの神様として知られています。
天神様の御神威をこめた茅守りをこ